

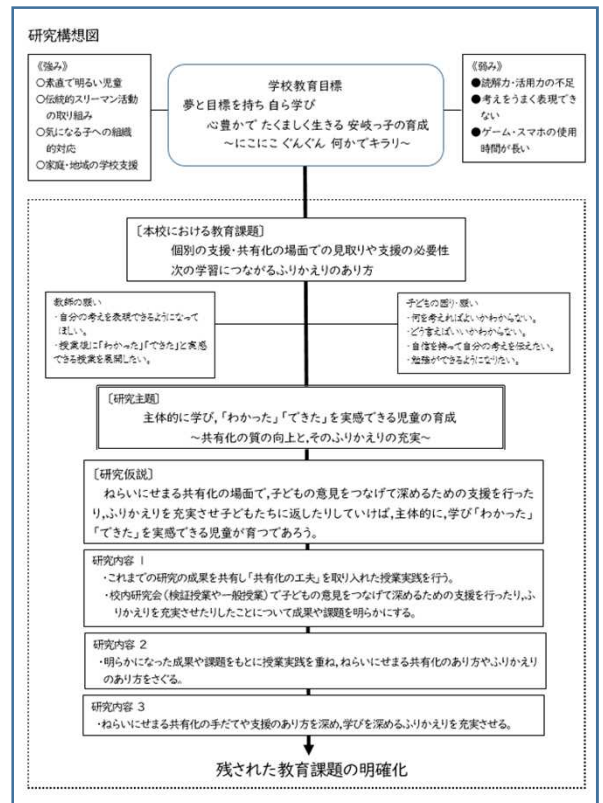
学力向上に効果のある取組事例

国東市立安岐小学校

④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組の具体①

- ① めざす子どもの姿の共有
 - (ア) ねらいにせまる共有化の場面で主体的に学ぶ姿
 - (イ) 「わかった」「できた」を実感できた姿
- ② 授業の焦点化
 - (ア) ねらいや課題、活動を絞るなど焦点化して授業を展開
 - (イ) 全員が表現する場の保障(ねらいを明確にしたペア・グループ学習)
- ③ 授業の視覚化
 - (ア) 考える材料を提示し、ひきつける。
 - (イ) 板書の構造化
- ④ 授業で共有化
 - (ア) 学びをそろえるための共有化(課題の引き受け・課題に対する見通し)
 - (イ) ねらいにせまる共有化(何を共有させるのか、そのためにどんな学習形態が有効なのか)
 - (ウ) 学びをそろえるための共有化(スキルカードの活用)
- ⑤ ふり返りの充実
 - (ア) できるようになったこと、わかったこと
 - (イ) これまでの経験や学習と関連付ける
 - (ウ) 次回の学びへつなげる
 - (エ) ねらいにせまる共有化が有効であったか見取る



共有化のスキルカード

① 友だちの意見を繰り返し言わせる

「さんはい」
 「〇〇さんの考えをもう一度説明できる？」
 「〇〇さんの考えをもう一度ペアで確認しましょう。」

② 友だちの意見の続きを言わせる

「〇〇さんの考えの続きを言ってごらん。」

③ 自分の言葉でもう一度言わせる

「〇〇さんの考えを自分の言葉で言ってごらん。」

④ 自分の意見を言う

「はいどうぞ」…口々に一斉に言わせる。
 「ペアで自分の意見を言ったら座ります。」

⑤ 想像させる

「〇〇さんが、～と答えた気持ちがわかる人いますか？」
 「〇〇さんはどう考えたのかな？」

⑥ 考えを広げる

「〇〇さんの考えを聞いて、何か気づいたことはありませんか？」
 「〇〇さんの説明で、一番大切なことは何だと思いますか？」
 「〇〇さんの間違いはどこかな？」
 「〇〇さんの考えは、どれに似ているかな？」
 「代わりに言ってくれる？」